

キャラクター名
天理(テリ)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	画家
	パロール					
オプション			年齢	不明	性別	不明
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	40	%
出自	ウォッチャー	経験	露見	邂逅	借り	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	1	0			1	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	5	0	0			5	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	3	1	調達		
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	1		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
思い出の一品					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費	
古代種	P	N			
盲目の幼子	P 感服	N 疎外感			
山澄 青葉	P 好意	N 脅威			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ルーラー	5	6	セットアップ	視界	シーン(選択)		Dロイス	
効果: そのラウンドの間、対象が行うあらゆる判定ダイスを-Lv個する。 3/シナリオ								
時の棺	1	10	オート	視界	単体		100%	
効果: 相手が判定を行う直前に使用。その判定は失敗となる。「難易度:自動成功」など、判定を要しないものには使用不可。 1/シナリオ								
勝利の女神	4	4	オート	視界	単体		100%	
効果: 対象が判定を行った直後に使用。その判定の達成値を+[Lv×3]。 1/ラウンド								
オリジン:ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身		RB	
効果: そのシーンの間、あなたがエフェクトを使用して判定するあらゆる達成値を+LVする。								
生き字引	1	1	メジャー	至近	自身	意志		
効果: 全ての<情報:>の代わりに使用して、情報収集判定を行える。情報収集判定ダイス+Lv個。								
戦場の魔術師	1	3	メジャー		3体	シンドローム	リミット	
効果: 前提条件:《アドヴァイス》。《アドヴァイス》と組み合わせて使用する。組み合わせた判定の対象を3体に変更する。 [Lv+1]/シナリオ								
アドヴァイス	5	4	メジャー	視界	単体	交渉		
効果: 次に対象が行うメジャーアクションのC値-1(下限値6)し、その判定ダイスを+Lv個する。								
コンセントレイト:ノイマン	3	2	メジャー			シンドローム		
効果: 組み合わせた判定のC値を-LV(下限7)する。								
ヒューマンズネイバー	1		常時	至近	自身		RB	
効果: あなたが行う衝動判定のダイスを+Lv個する。このエフェクトは浸蝕率でレベルアップしない。侵食率基本値+5。								
ディメンジョンゲート	★	3	メジャー					
効果:								
究極鑑定	★		メジャー					
効果:								
効果:								
効果:								

「人は好きだな。話すのも見るのも飽きない」
「ほう、これがフルーツグラノーラ……………うんうん、食感がせわしないな」

見た目は見目麗しい女性に見えるが、口調が老人男性のものであり、声は中性的。日によって身体の肉付きが女性的であったり男性的であったりと、安定していない。

正体は人の形を取っているレネゲイドウィルスの塊であり、人として人間社会に溶け込んでいるかと思えば姿を消したりと、神出鬼没を体現している。人間の営みを見る事や記録を残す事を好み、特に絵に起こす事を行う。UGNに協力しているのも、少しでも長く見ていたいから。

シンドロームに関しては、普段はノイマンとだけ答えてる。本人曰く「重力は重たいからあまり使いたくない」とのこと。